

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題

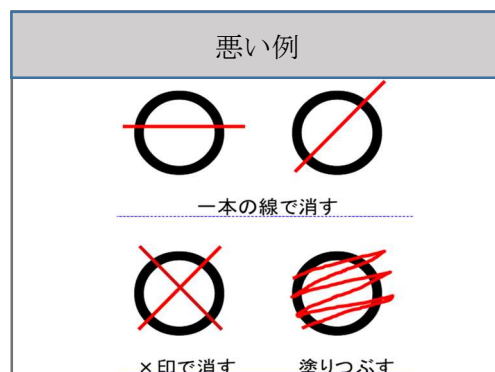
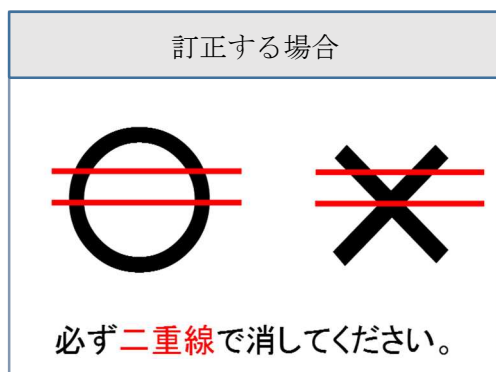
試験実施日 令和7年3月19日

事業者名 _____

受験者名 _____

【注意事項】

1. 試験時間は、45分間です。
2. 解答はボールペンで記載して下さい。
3. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないで下さい。
4. 問題用紙は、表紙を含めて 5 枚です。
5. 問題用紙は、持ち帰らないで下さい。
6. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格となります。



事務処理欄		
		/ 30

中部運輸局

問1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入して下さい。

- 1 一般旅客自動車運送事業者は、運送の申込みを受けた順序により、旅客の運送をしなければならないが、急病人を運送する場合はこの限りではない。
()
- 2 一般旅客自動車運送事業を休止する時は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。
()
- 3 一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに運送約款を営業所において公示した後でなければ、これを実施してはならない。
()
- 4 旅客自動車運送事業者は、五十五才以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならない。
()
- 5 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、速やかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を公示しなければならない。
()
- 6 道路運送法の目的には、公共の福祉を増進することが謳われている。
()
- 7 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する運転者の連続運転時間は、5時間を超えないものとしなければならない。
()
- 8 一般旅客自動車運送事業者は、安全統括管理者を選任し、又は解任したときは、遅滞なく、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。
()
- 9 一般旅客自動車運送事業者が許可に付された条件に違反したときは、許可の取り消しを受ける場合がある。
()

- 1 0 旅客自動車運送事業者は、運転者の酒気帯びの有無の確認のためにアルコール検知器を用いる必要があるが、アルコール検知器が故障してしまった場合はこの限りではない。
()
- 1 1 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その使用する自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話その他適当な方法により、十二時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。
()
- 1 2 一般貸切旅客自動車運送事業者は、車掌を乗務させなければ道路及び交通の状況並びに輸送の状態により運転上危険がある場合に限り事業用自動車に車掌を乗務させる必要がある。
()
- 1 3 一般旅客自動車運送事業者は、双方の合意があれば事業の譲渡及び譲受を行うことができ、その効力はすぐに生じる。
()
- 1 4 一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地のいずれもがその営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない。
()
- 1 5 一般貸切旅客自動車運送事業者及び一般乗用旅客自動車運送事業者は、災害の場合その他緊急を要する場合及び、一般乗合旅客自動車運送事業者によることが困難な場合において、一時的な需要のために国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して行うとき以外には、乗合旅客の運送をしてはならない。
()

問2 次の設問に、法及び規則並びに告示等の文のとおり正しい語句を（ ）に記入して下さい。

- 1 6 一般貸切旅客自動車運送事業の事業用自動車の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から（ ）年間と定められている。
- 1 7 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、（ ）年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。
- 1 8 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して（ ）年間保存しなければならない。
- 1 9 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後（ ）日以内に、輸送の安全に関する基本的な方針等、国土交通大臣が定める事項について、インターネット等を用いて公表しなければならない。
- 2 0 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の一日の拘束時間は13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は（ ）時間とする。

問3 以下の各設問の（ ）内に、正しい語句を〔 〕枠内から選択し、記号を記入して下さい。

- 2 1 一般旅客自動車運送事業の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の（ ）を受けなければならない。
〔A. 免許 B. 許可 C. 認可〕
- 2 2 一般貸切旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って事業用自動車の運転者の（ ）及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。
〔A. 休憩時間 B. 勤務時間 C. 出勤時間〕
- 2 3 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送引受書の写しを（ ）の日から三年間保存しなければならない。
〔A. 運送申し込み B. 運送引き受け C. 運送終了〕

- 24 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に、当該事業者の氏名又は名称及び当該自動車の（ ）を旅客に見やすいように表示しなければならない。
〔A. 営業区域 B. 自動車登録番号 C. 許可（免許）番号〕
- 25 自動車運送事業の用に供する自動車は（ ）ごとに定期点検整備をしなければならない。
〔A. 3か月 B. 6か月 C. 12か月〕
- 26 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を（ ）結果を生ずる競争をしてはならない。
〔A. 阻害する B. 助長する C. 確保する〕
- 27 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の（ ）をしてはならない。
〔A. 割引 B. 払戻し C. 割戻し〕
- 28 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車につき、点検整備、整備管理者の選任及び検査に関する（ ）の規定に従うほか、省令に掲げる事項を遵守しなければならない。
〔A. 道路運送法 B. 道路法 C. 道路運送車両法〕
- 29 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、（ ）に対し適切な防護措置をとらなければならない。
〔A. 旅客 B. 列車 C. 車両〕
- 30 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を（ ）により記録し、かつ、その内容を記録した電磁的記録を3年間保存しなければならない。
〔A. 運行記録計 B. 乗務記録 C. 運行指示書〕

一般貸切旅客自動車運送事業 法令試験問題(回答)

試験実施日 令和7年3月19日

問1 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入して下さい。

- 1 一般旅客自動車運送事業者は、運送の申込みを受けた順序により、旅客の運送をしなければならないが、急病人を運送する場合はこの限りではない。
(道路運送法第14条) (○)
- 2 一般旅客自動車運送事業を休止する時は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。
(道路運送法第38条) (×)
- 3 一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに運送約款を営業所において公示した後でなければ、これを実施してはならない。
(運輸規則第4条) (○)
- 4 旅客自動車運送事業者は、五十五才以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならない。
(運輸規則第38条) (×)
- 5 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、速やかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を公示しなければならない。
(運輸規則第16条) (○)
- 6 道路運送法の目的には、公共の福祉を増進することが謳われている。
(道路運送法第1条) (○)
- 7 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する運転者の連続運転時間は、5時間を超えないものとしなければならない。
(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条) (×)
- 8 一般旅客自動車運送事業者は、安全統括管理者を選任し、又は解任したときは、遅滞なく、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。
(道路運送法第22条の2) (○)

- 9 一般旅客自動車運送事業者が許可に付された条件に違反したときは、許可の取り消しを受ける場合がある。

(道路運送法第40条) (○)

- 10 旅客自動車運送事業者は、運転者の酒気帯びの有無の確認のためにアルコール検知器を用いる必要があるが、アルコール検知器が故障してしまった場合はこの限りではない。

(運輸規則第24条) (×)

- 11 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その使用する自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話その他適当な方法により、十二時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

(自動車事故報告規則第4条) (×)

- 12 一般貸切旅客自動車運送事業者は、車掌を乗務させなければ道路及び交通の状況並びに輸送の状態により運転上危険がある場合に限り事業用自動車に車掌を乗務させる必要がある。

(運輸規則第15条) (×)

- 13 一般旅客自動車運送事業者は、双方の合意があれば事業の譲渡及び譲受を行うことができ、その効力はすぐに生じる。

(道路運送法第36条) (×)

- 14 一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地のいずれもがその営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない。

(道路運送法第20条) (○)

- 15 一般貸切旅客自動車運送事業者及び一般乗用旅客自動車運送事業者は、災害の場合その他緊急を要する場合及び、一般乗合旅客自動車運送事業者によることが困難な場合において、一時的な需要のために国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して行うとき以外には、乗合旅客の運送をしてはならない。

(道路運送法第21条) (○)

- 問2 次の設問に、法及び規則並びに告示等の文のとおり正しい語句を()に記入して下さい。

- 1 6 一般貸切旅客自動車運送事業の事業用自動車の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から（ 1 ）年間と定められている。（道路運送車両法第49条、自動車点検基準第4条）
- 1 7 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、（ 5 ）年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。（道路運送法第8条）
- 1 8 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して（ 1 ）年間保存しなければならない。（運輸規則第3条）
- 1 9 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後（ 100 ）日以内に、輸送の安全に関する基本的な方針等、国土交通大臣が定める事項について、インターネット等を用いて公表しなければならない。（運輸規則第47条の7）
- 2 0 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の一日の拘束時間は13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は（ 15 ）時間とする。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条）
- 問3 以下の各設問の（ ）内に、正しい語句を〔 〕枠内から選択し、記号を記入して下さい。
- 2 1 一般旅客自動車運送事業の管理の委託及び受託については、国土交通大臣の（ B ）を受けなければならない。（道路運送法第35条）
〔A. 免許 B. 許可 C. 認可〕
- 2 2 一般貸切旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って事業用自動車の運転者の（ B ）及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。（運輸規則第21条）
〔A. 休憩時間 B. 勤務時間 C. 出勤時間〕
- 2 3 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送引受書の写しを（ C ）の日から三年間保存しなければならない。（運輸規則第7条の2第2項）
〔A. 運送申し込み B. 運送引き受け C. 運送終了〕

- 24 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に、当該事業者の氏名又は名称及び当該自動車の（ B ）を旅客に見やすいように表示しなければならない。（運輸規則第42条）
〔A. 営業区域 B. 自動車登録番号 C. 許可（免許）番号〕
- 25 自動車運送事業の用に供する自動車は（ A ）ごとに定期点検整備をしなければならない。（道路運送車両法第48条）
〔A. 3か月 B. 6か月 C. 12か月〕
- 26 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を（ A ）結果を生ずる競争をしてはならない。（道路運送法30条）
〔A. 阻害する B. 助長する C. 確保する〕
- 27 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の（ C ）をしてはならない。（道路運送法第10条）
〔A. 割引 B. 払戻し C. 割戻し〕
- 28 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車につき、点検整備、整備管理者の選任及び検査に関する（ C ）の規定に従うほか、省令に掲げる事項を遵守しなければならない。（運輸規則第45条）
〔A. 道路運送法 B. 道路法 C. 道路運送車両法〕
- 29 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、（ B ）に対し適切な防護措置をとらなければならない。（運輸規則第50条）
〔A. 旅客 B. 列車 C. 車両〕
- 30 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を（ A ）により記録し、かつ、その内容を記録した電磁的記録を3年間保存しなければならない。（運輸規則第26条）
〔A. 運行記録計 B. 乗務記録 C. 運行指示書〕

